

平成 21 年度 地域発案システム 実施結果

取組名	西表自然休養林の受益者負担による施設整備、維持管理等の推進	
署等名	沖縄森林管理署	
取組を行う背景・経緯	西表自然休養林への入り込み者が増加する中、マングローブの踏圧等による自然環境への過剰な負荷が懸念されている。関係機関、団体等と連携した取り組みにより、その解消対策を検討する必要がある。	
実施した取組の内容、成果等	西表自然休養林保護管理協議会に対し、受益者負担の取組について継続して働きかけている。また、浦内川地区のウタラ炭坑跡地の歩道等を整備する際に、整備後における施設の維持管理等について竹富町と話し合った。更に、西表島カヌー組合に対し、マングローブ踏圧防止対策に向け、町と連携し取り組むよう指導するとともに、土地所有者としての協力を示唆した。	
取組体制	担当の業務課を主体に署長、流域管理調整官で対応	
自己評価	竹富町、西表カヌー組合等の関係者と連携した取組は行ったものの、西表自然休養林保護管理協議会の開催には至らなかったことから、更なる取組が必要と考える。	
今後の展望	平成 21 年度事業として、自然休養林浦内川地区内のウタラ炭坑跡地への遊歩道を整備したことから、これを機会に自然休養林の利用のあり方などについて関係機関との協議を進める。また、西表森林生態系保護地域設定委員会による当該区域の見直し作業が行われており、新たな区域に対応できるよう取組体制を整える必要がある。	
新聞等掲載状況		